

生産方式革新実施計画の概要【株式会社 アグレスト】

2025年
10月30日認定

活用するスマート農業技術

KSAS連携対応色彩選別機、収量センサ付きコンバイン

新たな生産の方式



データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稻において、KSAS連携対応色彩選別機及び収量センサ付きコンバインから得られたデータ（カメムシ被害、収量、品質等）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

株式会社 アグレスト（山形県酒田市）

経営概況（2025年10月時点）

経営規模：水稻47ha

従業員数：8名

<対象品目>

水稻

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



アグレストの皆様



色彩選別機

～認定を受けて一言～

平成27年に「この豊かな自然環境で作ったお米を日本全国の直接消費者へお届けする」ことを目指して法人を設立しました。これまで、「地元で耕作放棄地を作らない」、「農地と農業を若い後継者につないでいく」、「自社生産のお米、氷河米を日本から世界へ」など、様々なことに挑戦してまいりました。これからも、スマート農業技術を活用して目標実現にむけてどんどん挑戦していきます。